

令和7年

7月

療育相談員だより



〒863-0043

天草市亀場町亀川1886番地2

天草圏域児童発達支援センター

電話：23-7049 FAX：22-4985

メール：hondo@amasha.jp

梅雨も明け、暑さが厳しくなる頃となりました。これからの猛暑に備え、熱中症対策を十分行いながら過ごしましょう。さて、今月の療育相談員だよりでは『ペアレント・トレーニング講座』『ペアレント・プログラム講座』『さまざまな感覚について』等、情報提供させていただきます。



●子育て支援講座のご案内●

ペアレント・トレーニング

発達が気になるお子さんと家庭で一緒に楽しく過ごす方法など、お子さんとの関わりや楽しい子育ての仕方について学ぶ、ABA（応用行動分析）を用いたプログラムです。講義だけでなく、実際にご家庭で実践しながら学べる講座です。



- 【参加費】 初回のみテキスト代として550円別途必要
【対象】 発達障がいの診断を受けた、年中～小学校3年生のお子さんの保護者様
【時間】 13:00～15:00
【場所】 天草圏域児童発達支援センターすくすく園（天草市社会福祉協議会本渡支所内）

- 【日程】 第1回 令和7年 9月24日（水）
第2回 令和7年10月17日（金）
第3回 令和7年11月10日（月）
第4回 令和7年11月28日（金）
第5回 令和7年12月23日（火）
第6回 令和8年 1月16日（金）



ペアレント・プログラム

☆子どものできていることやよいところをみて、褒めるコツを学び合いませんか？

このプログラムは子育てに悩んでいる保護者の方がお子さんの『行動の理解の仕方』を学び、『楽しく子育てをする機会とすること』を目的とした全6回のプログラムです。

ポイント

行動で考える

行動の意味を理解して、子どもにどのように行動したらよいかを具体的に伝えるコツを知りましょう！

キーワード

褒める対応

がんばっているところ、努力しているところに注目！褒め上手になって子どもと接しましょう！

シェアしよう

仲間づくり

同じ悩みを持つ保護者同士で、子育てについてともに考え、アイディアを出し合って日々の生活に役立てましょう！

- 【参加費】 なし
【対象】 上天草市在住の子育てでお悩みの保護者様
【時間】 13:30～15:00

- 【日程】 第1回 令和7年 9月25日（木）
第2回 令和7年10月15日（水）
第3回 令和7年11月 6日（木）
第4回 令和7年11月27日（木）
第5回 令和7年12月17日（水）
第6回 令和8年 1月14日（水）



●ご都合で参加できない回は、次の回までに内容をお知らせします。

※託児はありません



【問い合わせ】天草圏域児童発達支援センター
天草市社会福祉協議会本渡支所内
【担当】療育相談員 亀子・唐津・原田

さまざまな『感覚』について



『感覚』の受けとり方はそれぞれ違いがあります。

感覚を感じとりすぎることによって日常生活に困難さがある状態のことを「感覚過敏」といいます。

逆に感じとりにくいことを「感覚鈍麻」といいます。

感覚の受けとり方の違いは周りからは見えないので、この偏りによる大変さは他の人からは理解されにくいことがあります。

感覚の受け取り方…個人差がある

感覚過敏・過反応



感覚鈍麻・低反応

- ・自分の感覚を「そういったもの」と思って育っているので、感覚過敏に本人も気付いていないこともあります。
- ・子どもの苦手を理解し、配慮することで、本人は我慢せず、安心して過ごすことができます。
- ・感じ方の違い自体は問題ではなく、それが生活の中で支障となっているかどうかに着目して、安心して過ごせるような配慮をすることが重要です。

■さまざまな感じ方

視覚

- ・光を眩しがる
- ・たくさんの情報が見えると疲れる

工夫
・サングラスをする
・照明を暗くする 等

聴覚

- ・大きな音や特定の音が苦手
- ・ザワザワしているところが苦手

工夫
・耳栓、イヤーマフをする
・静かな場所で休憩する 等

味覚

- ・食べられるものが限られている

工夫
・無理せず自分で選んで
食べる形式にする 等

触覚

- ・人に触られるのが苦手
- ・痛みや熱さに気づきにくい

工夫
・触れる前に声をかける
・洋服のタグを取り除くなど
刺激を減らす 等

前庭覚

加速度を感じる感覚で、自分のからだの傾き、スピード、回転や重力などを感じたりする

- ・不安定な場所や遊具を怖がる
- ・姿勢が崩れていても気づきにくい 等

固有受容覚

自分のからだの位置や動き、力の入れ具合などを感じる感覚

- ・服や鉛筆などを噛む
- ・物の扱いが乱暴 等

■配慮のポイントは？

- 無理強いはいしない。(我慢したら慣れるものではありません)
- 刺激の原因を取り除く、離れる等。

取り除いたり、離れる事が難しければ、防げるアイテムを使って刺激の量を減らす、あらかじめ準備ができるよう見通しを伝えるなどの対応も有効です。

